

変革・創造・実践

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2015
August

No. 161

8



JA全農ぐんま



私たち全農グループは、生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき 8

営農総合支援センター

- 豪雪被害に係る野菜の生産支援
- JA-TAC活動及び担当者の育成支援
- 担い手対策のための取り組み
- 農産物の安全・安心対策のための取り組み

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進

米麦特産課

- こんにゃく推進セット夏期特別推進
推進目標 22,000ケース
(平成27年7月1日～8月31日)
- こんにゃく荒粉・精粉販売推進(入札の実施)
- こんにゃく生玉予約取扱推進

園芸部

園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 共計にがうり販売 (9月末日迄)
- 共計オクラ販売 (9月末日迄)
- 共計みょうが販売 (9月末日迄)
- 共計県統一規格露地なす販売 (11月末日迄)

販売促進課

- 夏秋野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

園芸資材課

- 雪害施設工程確認と進捗管理
- 雪害施設被害復旧業務全般
- 青果物用予冷库推進(パナソニック)
- 夏用出荷資材予約・当用推進
(キャベツ・トマト・なす等)
- 低コスト段ボール
(AKライナー・ノンステープル段ボール)の推進
- ハウス用更新資材戸別推進(農ビ・農ポリ等)
- 種馬鈴薯予約推進取りまとめ
- 秋まき用種子推進
(ブロッコリー・ほうれん草・きゅうり等)

生産資材部

- 売出し・フェアの実施
 - ☆花木流通センター
 - 8月12日(水)～16日(日) お盆セール
 - 8月29日(土)～31日(月) 野菜の日フェア
 - 8月5日・12日・19日・26日 水曜お米特売日
 - ☆愛菜館
 - 8月12日(水)～16日(日) お盆セール
 - 8月5日・12日・19日・26日 水曜お肉特売日
 - 8月8日(土)・19(水)・28(金) 8の日お米特売
- 造園工事推進

肥料農業課

- セルフブレンド推進
- 施設園芸肥料農業推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進

農業機械課

- 丸山サンクスキャンペーン (9月末日迄)

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 高崎ハムお中元ギフト・関連商品推進(6月～8月)

葬祭総合課

- 生花利用運動 (周年)
- 新盆用品・新盆ギフト推進
- 墓石相談対応(リフォーム・戒名字彫り等)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

自動車燃料部

石油課

- JA-SS夏のキャンペーン (6月～8月)

ガス課

- 平成27年度ガス器具特別推進
- ふれあい訪問活動推進
- 大型給湯器特別推進



群馬県ＪＡ肉牛肥育部連絡協議会 通常総会
(7.3 前橋市内)
群馬県ＪＡ繁殖和牛部連絡協議会 第30回通常総会
(7.16 渋川市内)



プリザーブドフラワーアレンジ教室
(7.7 アシストホールたかさき)

■肉牛経営安定へ向け協議

当県本部が事務局を務め、群馬県産牛肉の品質向上と消費拡大及び肉牛経営の安定化を図ることを目的とした群馬県ＪＡ肉牛肥育部連絡協議会及び群馬県ＪＡ繁殖和牛部連絡協議会が7月3日(金)と16日(木)にそれぞれ通常総会を開催しました。両協議会ともに、平成26年度事業報告並びに平成27年度事業計画及び予算案について上程し、議案は全て原案どおり可決承認されました。

■オリジナルの作品づくりを楽しむ

7月7日(火)、葬祭総合課はアシストホールたかさきにおいて、生花に特殊加工を施した花を使用する「プリザーブドフラワーアレンジ教室」を開催しました。講師による丁寧な説明が好評で、参加者は初心者から上級者まで思い思いのアレンジを楽しみました。それぞれ完成した作品を前に「素敵に仕上がった。友達に自慢できる。」と嬉しそうに話していました。葬祭総合課では、今後もフラワーアレンジ教室を定期的に開催していく予定です。



ＪＡ前橋市によるトップセールス
(7.10 築地市場)



ＪＡあがつま新事務所竣工式
(7.21 ＪＡあがつま原町支店(本店分室))

■市場に前橋産野菜をPR

7月10日(金)ＪＡ前橋市・市・当県本部は、前橋産野菜の市場評価や知名度を向上させ、更なる販売促進を図るため、東京都中央卸売市場築地市場においてトップセールスを実施しました。ＪＡ前橋市の前原組合長と山本前橋市長が市と野菜の魅力をPRしました。

また当日は、イオン東雲店において前橋産野菜の消費宣伝イベントも行われ、枝豆を試食提供した他、きゅうり・ナス・みょうがといった旬の野菜のおいしさを大消費地の消費者に紹介しました。

■本店機能を持つ新事務所が完成

7月21日(火)、「ＪＡあがつま新事務所竣工式」が執り行われ、施主代行を務めた当県本部も出席しました。道路拡幅に伴い、本店内にあった原町支店と、金融・共済・監査といった本店機能の一部を新たな事務所に移転させました。挨拶に立った唐澤理事長は、「地域の皆様のふれあいの拠点として、友好的に利用して欲しい。」と述べられ竣工を祝いました。組合員や地域の方々の生活を支えると共に、住民の交流の場としても利用が期待されます。



手作り刺身こんにゃく講習会
(7.26 花木流通センター)



新築そっくりさんリフォーム体験博
(7.18～20 花木流通センター)

■手軽に楽しく こんにゃく作りを体験

7月26日(日)、米麦特産課は「手作り刺身こんにゃく講習会」を開催し、22名が参加しました。この講習会は、当県の特産品であるこんにゃくのPRを目的に毎年開催されており、当日はこんにゃくの精粉からビニール袋を使って手軽に作る方法が紹介されました。参加者は作り方のコツや食べ方のアドバイス等の説明を受けながら、楽しく刺身こんにゃく作りを体験しました。

■最新住設を体験

7月18日(土)～20日(月)の3日間、施設住宅課は住友不動産(株)と共催し、「新築そっくりさんリフォーム体験博」を開催しました。会場には、リフォームの実例を紹介した写真パネルやサッシ・キッチン・トイレといった実物の住宅設備が数多く展示されました。また、耐震設備の体験コーナーや、無料見積もり・相談コーナー等も設けられ、来場者は担当者の説明を熱心に聞き、住まいづくりの参考にしていました。

群馬のおいしい魅力をPR! JAまるしえで消費拡大イベントを開催

～ 7.9・10 大手町JAビル ～

JAグループ群馬は、7月9日(木)・10日(金)の2日間、大手町JAビルの農業・農村ギャラリー(愛称：ミノーレ)において、「グッドぐんまの農畜産物フェア」を開催しました。

イベントでは、県内から選りすぐった旬の野菜・果物・加工品等自慢の品々を販売し、試食提供を通して来場者に魅力を伝えました。試食された方々からは「美味しい。」「甘い!」との声が多数あがり、群馬県産食材へ関心を寄せていただけ

ました。また、県産農畜産物を使用した「上州和牛ステーキ弁当」と「上州麦豚焼肉弁当」も販売され、販売開始から数分で完売してしまうほどの盛況ぶりでした。トマトジュースや梅ジュース、チーズケーキなどの加工品を買い求める人も多く見られ、両日とも大勢の来場者で賑わいました。

今後も知名度向上と消費拡大を図るため、県内外でのPR活動に積極的に取り組んでいきます。



▲ 新鮮野菜を買い求める来場者



▲ 賑わう会場の様子



▲ ぐんまちゃんも登場し会場を盛り上げました

最新農機が一堂に集結!!アグリマシンフェア2015

～ 7.18・19 総合センター内特設会場 ～

今年も「魅力とやりがいのある群馬の農業生産振興を目指して」をテーマに、県内JA・JA全農ぐんま共催、群馬県系統農機メーカー連絡協議会後援の「アグリマシンフェア2015(第39回農業機械大展示即売会)」が盛大に開催されました。開会式では、当県本部の小林副本部長の挨拶及び関係団体・各社の代表者によるテープカットが行われ、開催を祝うと共に成功を祈願しました。

会場では、トラクターやコンバイン、田植機などの農業機械や生産資材、肥料・農薬が勢揃いし、各メーカーの趣向を凝らした展示や実演で最新技術や新機能をPRしました。来場者はメーカー担当者の説明を熱心に聞き、実際に乗車して操作確認を行っていました。初日の悪天候にも関わらず、2日間で5,026人にご来場いただきました。



▲ 開会式でのテープカット



▲ 会場の様子 ▲



孺恋高原キャベツ

最盛期に向け消費地でPR!!



夏秋キャベツの収穫量で全国一位を誇るJA孺恋村では、8月2日の「孺恋高原キャベツの日」に伴った消費宣伝活動を展開。8～9月の最盛期に向けて、当県本部と共に各地でPR活動を行いました。

○7月13日(月)、JA孺恋村の松本組合長をはじめとするJA関係者が大澤県知事を表敬訪問しました。県知事へ新鮮なキャベツを贈呈すると共に、作柄報告や意見交換を行いました。

○7月14日(火)～7月27日(月)、中京・近畿・

九州地区の3消費地において、複数のテレビ・ラジオ番組に出演し、消費者に孺恋高原キャベツをPRしました。上記地域では7月中旬～8月下旬の間、ご当地アイドル「AKG」と「ぐんまちゃん」を起用したテレビCMも放映され、産地の知名度アップが図られました。

また、この他にも7～8月にかけて、全国各地の量販店にて「高原野菜フェア」と題した試食販売等のイベントを開催。消費者に向けて、孺恋高原キャベツの魅力をPRしました。



▲ 大阪市内の量販店でPR



▲ 県知事へキャベツを贈呈



▲ 名古屋市内でのテレビ番組収録の様子

こだわりのトマトジュース 9月より販売開始!

9月1日(火)から「群馬県産オリジナルトマトジュース」の販売を開始いたします。原料には、日本デルモンテ(株)が独自に開発した品種「デリシャスレッド」を使用した、すっきりとした飲み口が特徴のストレートのトマトジュースです。「濃縮還元とは異なる、フレッシュな旬のトマトの味をぜひジュースで楽しんでください。」と担当者は話します。毎年心待ちにしているファンも多く、数量限定のため品切れの場合がありますので、お早めにご注文ください。

低塩
タイプ^{※1}

群馬県産オリジナル トマトジュース

パスタやスープ、リゾット
などのお料理の材料
としても便利です。

群馬県産完熟トマトを
旬にしぼったストレートの
トマトジュースです。

限定
製造



1ケース・30缶入
(190g×6本×5)

お問合せ・ご注文先

ご注文は、お近くのJA またはJA全農ぐんまへ

JA全農ぐんま 米麦特産課

Tel 027-220-2251

※1.「低塩」は、厚生労働省・栄養表示基準により、ナトリウムが120mg/100mL以下と定義されています。(本品は83mg/100mL)

※この夏に収穫された、完熟トマトを使用しています。トマトの生育・収穫状況によっては納品時期が遅れる可能性がありますので、なにとぞご理解のほどお願い致します。

みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

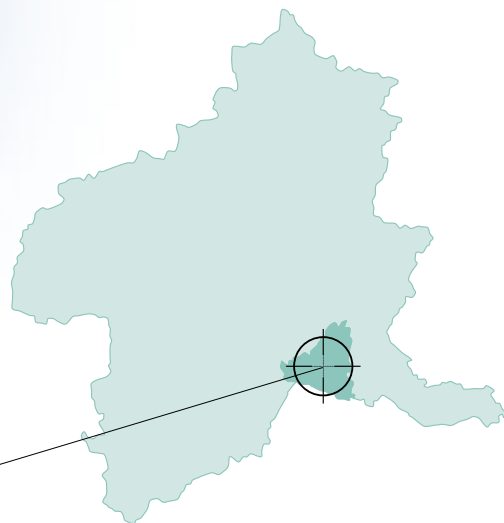
番組名/提供	放送日 ※再放送日	時間
元気の源! にがうりとモロヘイヤ/JA前橋市	8月31日(月)	PM 9:00~9:30
	※ 9月 6日(月)	AM 8:00~8:30
楽しく食べよう「たまごフェスタ2015」/群馬県養鶏協会	9月 7日(月)	PM 9:00~9:30
	※ 9月13日(日)	AM 8:00~8:30



山部 朱里アナ

農業 チャレンジ

JA佐波伊勢崎



野菜の美味しさと農業の楽しさを実感

JA佐波伊勢崎管内 塚越 早苗 さん



塚越 早苗
(つかごし・さなえ) さん

1968年生まれ、47歳。
JA佐波伊勢崎露地なす部会(玉
村地区)の部会長を務める。
漬物部に所属。

栽培面積：ナス
(ハウス栽培)・・・23a
(露地栽培)・・・20a
春菊・・・・・・・・23a
ロマネスコ・・・・10a

新鮮野菜に囲まれる喜び

今回のチャレンジャーは、JA佐波伊勢崎管内でナス・春菊・ロマネスコの生産を行う塚越さんです。就農のきっかけを伺うと、「元々会社員だった夫が29歳のときに実家の農家を継ぎ、就農したのがきっかけです。サラリーマンとは違い自分のやった成果が全て自分に返ってくる農業で勝負をしたいと言いついたんです。一度決めたら止められませんし、一緒に農業を始めたのは自然の流れでしたね。」と話してくれました。「自分の作った物が実るとまずその場で食べてみます。農業を始めて、野菜ってこんなに美味しいんだって改めて実感するようになりました。新鮮な物がいつでも食べられるって幸せですね。」と笑顔を見せます。

悲しみを乗り越えて

塚越さんは、長年支え合ってきたかけがえのない旦那様を6年前に亡くされています。当時の心境について、「辛くても悩んだり悲しんだりしている余裕はありませんでした。作物は待ってくれませんから、やらなくちゃ!という思いにただ追われていましたね。そんな時、JAの皆さんや近隣の農家さんが毎日来てくれて、裁

培の手助けや心の支えになってくれました。あの時の感謝の気持ちは忘れられません。本当に私は恵まれていると思いました。」と当時を振り返ります。「以前は夫主導の作業でしたが、今はJA指導のもと肥料設計や病気の対策等も自分で考えて行っています。今後は、ハウスを増設して施設栽培に切り替えていきたいと思っています。」と塚越さん。旦那様の思いを受け継いで、日々作業にあたっています。

明るく・楽しく 地域農業を盛り上げる

塚越さんは、玉村地区の露地なす部会の部会長として、栽培技術向上のための活動に力を注ぐと共に、水ナスを使った漬物を製造・販売する漬物部にも所属し、商品開発から販売まで行っています。生産者と交流を図りながら様々な活動に積極的に取り組むことで、地域農業の活性化に貢献しています。今後について伺うと、「この近辺には女性の就農者も多く、お互いに協力しながら日々楽しくやっています。これからも何より楽しんでやっていきたいです!」と持ち前の明るさで話してくれました。困難にも負けず、生き生きと前進する姿に、今後更なる活躍が期待されます。



1



2



3



4

- 1 丹精込めて作ったナス。「茹でも焼いても天ぷらにしても美味しい。」と塚越さん。
- 2 ナスの根元にマリーゴールドを植えることで、マリーゴールドに生息するヒメハナカメムシ類がナスの天敵である害虫を防除する効果があるそうです。
- 3 水分を豊富に含み、柔らかいのが特徴の水ナス。漬物部の皆さんが作った漬物は、玉村の道の駅で販売しています。
- 4 塚越さんのアイディアで始めた野菜の自販機。毎朝新鮮野菜を販売し、近隣の方から喜ばれています。



がんばってまーす!

INTERVIEW

JA甘楽富岡
営農部 園芸販売課

曾我 佳之さん

そが・よしゆき（34歳）

趣味.....読書

好きな食べ物.....野菜

●職場の皆さんからみた曾我さん

「コツコツ頑張る努力家です。今後も末永く組合員さんのために力を尽くして欲しいです。」

「組合員に喜ばれる仕事をしたい」

——どうしてJAで働こうと思ったのですか？

農業の学校を出てすぐ、農業関係の資材店で働き始めたのですが、そこではお客さんと接する機会がほとんどありませんでした。生産者と直接関わりたいとの思いからJAの仕事に興味を持ち、転職を決意しました。

——現在の仕事内容を教えてください。

青果物の集荷販売・市場対応・生産部会対応等を行っています。市場と話し合いをしながら、常にJAの有利販売に取り組んでいます。

——入組して何年目ですか？

10年目になります。入った当初からずっと青果物の販売業務に携わっていますが、範囲が広いので今でも難しさを感じる毎日です。

——どんな時にやりがいを感じますか？

組合員と販売先の仲介役として、両者の要望に応えられた時です。

先日も、大きすぎて廃棄していた青果物の出荷要請が市場からあったため、生産部会との間に立って話をまとめました。組合員さんからは「今まで捨てていた物が売り物になってよかった。」と大変喜んでいただきました。このように、自分の関わった仕事で「よかった。」と言ってもらえるモチベーションに繋がりますね。

——休日の過ごし方を教えてください。

近場の温泉に行きリラックスしています。

——好物は野菜とのことですが。

時々組合員さんから野菜や手作りの漬物をいただくこと

があるのですが、もともと野菜は大好きなのでとてもありがたいです。今の部署で良かったと思う瞬間です。（笑）

——最後に、今後の意気込みをお聞かせください。

実家が農家なので、今後は休日には両親の仕事を手伝い、実践的な農業の知識を身に付け、日々の業務に活かしていきたいと思っています。今後も地域農業に貢献して下さる組合員さんを支え、喜んでもらえるよう頑張ります！

——曾我さん、お忙しい中ありがとうございました。



畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は7月27日に6月の牛乳乳製品統計を公表した。6月生乳生産量は62万4,650tで前年に比べ0.9%増加した。北海道は32万8,697t(前年同月比1.3%増)で生産量の全国シェアは52.6%となった。

都府県の生産量は29万5,953tとなり、前年同月比で0.4%増加した。

■販売及び乳製品情勢

6月の用途別処理量は、牛乳等向けが34万9,033t(前年同月比1.1%増)、乳製品向けが27万0,983t(〃0.8%増)となった。

飲用牛乳等生産量は30万3,552ℓ(〃0.4%増)で前月から0.6ポイント増加し、内牛乳が26万5,382ℓ(〃0.8%増)、また乳飲料は11万5,670ℓ(〃0.5%減)で前月より1.3ポイント減少した。

生乳生産量と用途別処理量

(単位：t、%)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生乳生産量	全 国	625,011	648,952	624,650			
	群馬(委託実績)	18,539	19,033	17,853			
	本会(委託実績)	5,955	6,116	5,719			
用途別処理量	飲用牛乳等向け	322,457	347,312	349,033			
	乳製品向け	297,955	296,945	270,983			
	その他向け	4,599	4,695	4,634			
前年対比	生乳生産量(全国)	99.7	99.8	100.9			
	〃(群馬)	98.5	98.9	99.4			
	〃(本会)	96.1	97.2	98.0			
	飲用牛乳等向け	102.7	101.5	101.1			
	乳製品向け	96.7	97.9	100.8			
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
							1,898,613
							55,424
							17,790
							1,018,802
							865,883
							13,928
							100.1
							98.9
							97.1
							101.8
							98.5

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(8月予想) 牛肉は強もちあい。盆の帰省者向けに地方で引き合いが強まる見通し。

肉牛枝肉相場(予想)

- ・和牛去勢A5 2,550円中心
- ・和牛去勢A4 2,300円中心

- ・和牛去勢A3 2,150円中心
- ・和牛去勢A2 1,830円中心
- ・交雑去勢B3 1,650円中心
- ・交雑去勢B2 1,600円中心
- ・乳牛去勢B2 1,150円中心
- ・交雑去勢B5 2,140円中心
- ・交雑去勢B4 1,840円中心

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込み)

年・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
和牛去勢A4	26年-27年 1,899	1,914	1,893	1,862	1,959	2,006	2,129	2,166	2,163	2,297	2,288	2,257	2,069
	27年-28年 2,283	2,349	2,252	2,255									2,285
	前年格差 384	435	359	393									215
和牛去勢A3	26年-27年 1,669	1,664	1,658	1,662	1,726	1,797	1,988	2,019	1,933	2,059	2,079	2,055	1,859
	27年-28年 2,098	2,132	2,080	2,085									2,099
	前年格差 429	468	422	423									240
和牛去勢A2	26年-27年 1,516	1,492	1,486	1,455	1,532	1,663	1,757	1,863	1,648	1,819	2,000	1,828	1,672
	27年-28年 2,026	1,848	1,866	1,956									1,924
	前年格差 510	356	380	501									252

群馬県食肉卸売市場上場頭数

(単位：頭)

年・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
26年-27年	1,291	1,098	1,104	1,262	1,068	1,216	1,232	1,465	1,385	1,005	1,091	1,012	14,229
27年-28年	1,085	946	907	1,151									4,089
前年格差	▲206	▲152	▲197	▲111									▲10,140
全国と畜頭数	25年-26年 103,062	95,418	90,357	104,661	91,687	93,321	104,050	117,198	113,212	86,606	85,968	91,771	1,177,311
	26年-27年 99,464	91,001	90,327	102,267	88,474	95,800	105,092	110,615	109,345	85,310	85,824	92,201	1,155,720
	27年-28年 95,755	83,324	89,621										268,700
	前年比 96.3	91.6	99.2										98.2

■素牛動向

- ①和牛子牛 (去勢) 691千円平均 (前月比100%) (雌) 608千円平均 (前月比100%)
- ②F1価格 (去勢) 250~300kg 1,325円/kg平均 (雌) 250~300kg 1,244円/kg平均
- ③全農・取引基準価格 (乳去) 260~300kg 663円/kg平均 (前月比108.3%)

養豚情勢

枝肉相場関係

群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

※平成25年4月より相対を含む。（単位：円税込）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
25年-26年(A)		450	499	485	498	507	499	466	477	521	458	467	496	485
26年-27年(B)		553	582	621	580	548	548	517	569	609	547	588	565	569
27年-28年(C)		569	535	565	613									571
(B-A)		103	83	136	82	41	49	51	92	88	89	121	69	84
(C-B)		16	▲47	▲56	33									2

豚肉価格形成要因

群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間頭数
と畜頭数	26-27年	44,690	39,069	36,628	39,821	35,032	40,542	44,979	36,865	41,060	39,158	37,138	39,152	474,134
	27-28年	41,752	37,407	39,299	40,863									159,321
前年比(%)		93.4	95.7	107.3	102.6									33.6

肉豚生産出荷予測（全国） ※6月まで実績／7月以降の出荷予測は

7月8日付けで農水省畜産部食肉鶏卵課が発表

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	1~3月	4月	5月	6月	4~6月	7月	8月	9月	7~9月	10月	11月	12月	10月~12月
全国出荷予測頭数(千頭)		4,006	1,372	1,231	1,288	3,905	1,313	1,239	1,353	3,905	1,465	1,405	1,559	4,429
前年同月比(%)		96	99	94	103	99	98	101	101	100	103	109	106	106

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、8月の出荷見込頭数は1,239千頭（前年同月比101%）となっている。その後は9月1,353千頭（〃101%）、10月1,465千頭（〃103%）と予想されている。豚肉相場は、弱もちあい。月前半は出荷減により上げ基調だが、後半は下げる見通し。
需要面は、盆の帰省者向けに地方で需要が高まる見通し。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

平成27年8月215円（見込み） 112%（前年比）

（単位：円）

価格の推移

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
26年-27年(A)		223	204	199	190	192	231	240	242	248	192	209	219	216
27年-28年(B)		227	230	223	213									223
(B-A)		4	26	24	23	0	0	0	0	0	0	0	0	8
全国基金	26-27年	0	0	0	2.088	0	0	0	0	0	2.907	0	0	
補填	27-28年	0	0	0	0									

■価格動向：7月の平均単価は213円（前年同月+23円）と前年同月を上回り、平成26年8月～平成27年7月期平均は222円（前年同期比+1円）であった。

■出荷動向：暑さの影響で、小玉の割合が高くなり、また、全体的な供給量も減少が予想される。

■需要動向：盆の帰省者が買う菓子向けで加工用に一定の需要が見込まれるが、学校給食がないことや暑さから消費は鈍る見通し。

卵価要因

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
加工卵輸入実績(t)	26-27年	2,286	2,314	2,393	2,427	2,137	1,974	2,273	1,877	2,192	2,067	2,542	2,231	26,713
	27-28年	2,449	1,888											4,337
前年比(%)		107.1	81.6											16.2
餌付羽数(千羽)	26-27年	8,205	8,291	8,405	8,408	7,048	8,622	8,071	7,369	8,295	7,941	7,764	8,734	97,153
	27-28年	7,872	8,422	8,640										24,934
前年比(%)		95.9	101.6	102.8										25.7

■餌付見込

※農水省は餌付け羽数見込みを公表しないことになったため、今後、餌付け羽数実績のみ掲載することになります。

■価格の推移

(7) 23年:188円
(1) 17年:204円 (4) 20年:193円 (8) 24年:181円
(2) 18年:184円 (5) 21年:175円 (9) 25年:207円
(3) 19年:169円 (6) 22年:194円 (10) 26年:216円

■原料情勢

①とうもろこし（シカゴ定期）

7月10日の米国農務省需給見通しによると、米国とうもろこしの2014/15年度産は、需要面において米国内飼料用途、エタノール向け、および輸出向けで前月発表から上方修正され、13,696百万ブッシェル（前月発表13,597百万ブッシェル）となり、期末在庫率は12.99%（前月発表13.80%）に下方修正された。

2015/16年度産は、期首在庫が97百万ブッシェル下方修正された他、生産量についても100百万ブッシェル下方修正され、供給量は15,334百万ブッシェル（前月発表15,531百万ブッシェル）となる見通し。一方、需要面では米国内需要量について据え置かれたものの、輸出量が25百万ブッシェル下方修正され、期末在庫率は11.64%（前月発表12.87%）に下方修正された。

今後は作柄や受粉の進捗に焦点が当たった展開が見込まれ、これらの良好な結果が相場の弱材料となると見込まれる。

シカゴ定期は、米国中西部の大雨による作柄悪化懸念や、7月10日発表の米国農務省需給見通しを受けた需給の引き締め見込みから、直近の相場は堅調に推移している。

②大豆粕

7月10日発表の米国農務省需給見通しによると、米国大豆の2014/15年度産について、供給量は前月発表と変化がなく、4,091百万ブッシェルとなった。需要量は、搾油需要や輸出需要等が75百万ブッシェル増加し、3,836百万ブッシェルとなった。単収については、前回発表から変化はなく47.8ブッシェル/エーカーとなった。結果として、期末在庫は75百万ブッシェル減の255百万ブッシェルと見通され、在庫率も6.65%と前月の8.77%から減少した。

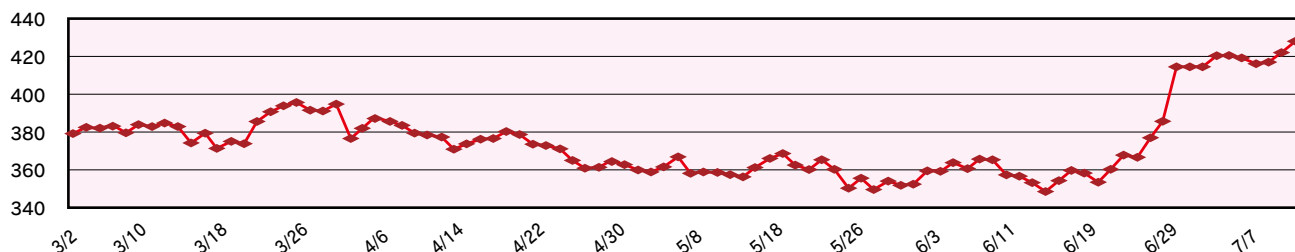
大豆粕のシカゴ定期は、作付期を迎えた米国の天候、および消費国の需要動向に影響されながら7月限は370ドル台で推移している。

■海上運賃

今後の米国ガルフ～日本間のパナマックス型運賃について、6月の南米大豆の輸出が5月を上回ったことや、貨物が決まっていなかったにもかかわらず、投機的に船を用船する者がいたことから堅調に推移した。投機的な船の用船者がそのうち貨物を探し始めることから船腹の需給は緩み、現在の堅調姿勢は徐々に緩んでいくものと予想される。

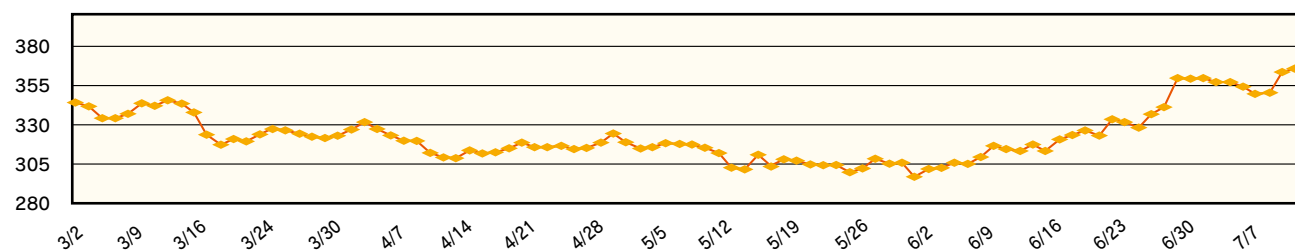
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



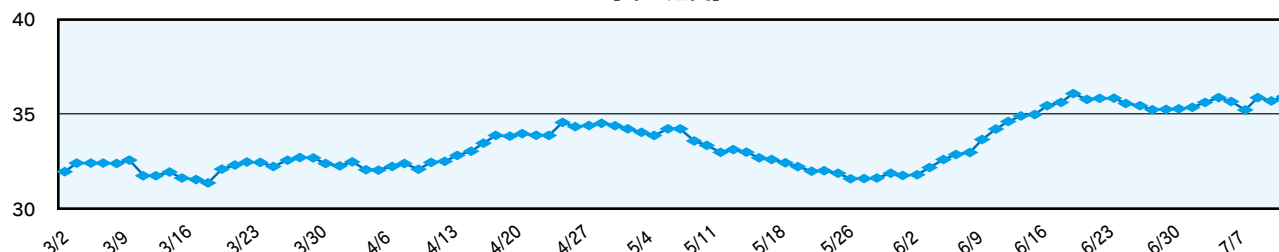
セント/ブッシェル

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！



今月の花木流通センターのおすすめは「秋野菜苗と種子」です。レタス・ハクサイ・キャベツなど、生産者が手塩にかけて育てた様々な苗が所狭しと並べられます。また、園芸資材館では大根・たまねぎなどの秋まき種子を多数入荷いたします。種まき関連商材も豊富に取り揃えておりますので、是非一度お越しください。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

9月の売出し・イベント案内

色々な売出しやイベントが目白押し。ぜひお出かけください！

開催日	内 容
9月5日(土) 10:00~	秋冬野菜定植講習会 【参加費無料・申込み不要】
9月12日(土) ~9月13日(日) 両日10:00~	ほうれん草栽培講習会 【参加費無料・申込み不要】
9月24日(木) 10:00~ 14:00~	花の寄せ植え講習会 (各回20名まで) 【参加費・申込み方法等 問合せ先: ふらわーらんど】
9月27日(日) 10:00~	花の寄せ植え講習会 【参加費・申込み方法等 問合せ先: ふらわーらんど】
9月19日(土)	上州牛・麦豚試食販売会
9月19日(土) ~9月23日(水)	秋の大園芸祭 (22日火曜日営業)

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

花と緑あふれる広場
KABOKU
花木流通センター

営業時間: 年中無休/9:00~18:00

(節電のため7月~9月毎週火曜日定休)

取扱商品

■園芸資材館/営農・園芸資材等 ■ふらわーらんど/鉢花、花苗等 ■JA植木コーナー/緑花木、盆栽等 ■エクステージ/外構・造園工事等 ■ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等 ■外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先

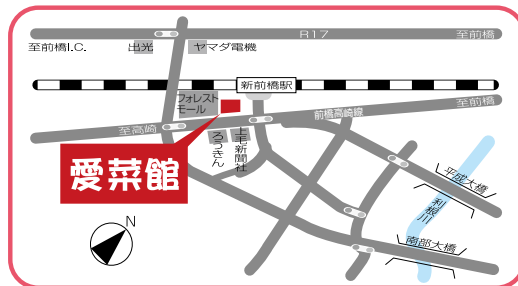
前橋市亀里町1307-1
TEL: 027-220-2427
FAX: 027-220-2424

やさいひるば
JA直販 愛菜館

営業時間: 毎週火曜日定休/9:00~18:00

取扱商品

■産直野菜
農産加工品/店頭精米等



お問い合わせ先

前橋市古市町106-1
TEL: 027-210-7788
FAX: 027-210-9811

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番

「県本部通信」係まで

E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp

※JAメール等でも結構です。

プレート
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



トマト&トマトジュレサラダ

材 料

4人分

(1人分119kcal)

トマト…………… 2個
群馬県産トマトジュース
…………… 200cc
ゼラチン…………… 3g
水……………大さじ 1

A (レモン汁……………小さじ 1
フレッシュバジル
(みじん切り) …… 5枚
塩…………… 小さじ 1/4

手作りカッテージチーズ

牛乳…………… 2カップ
酢……………大さじ 1

パセリ…………… 適量
オリーブオイル(一人分)
……………小さじ 2
塩コショウ…………… 適量

作り方

- 1 トマトは5mmの半月切りにし、お皿に並べ冷蔵庫で冷やす。
- 2 ゼラチンに水を加えて戻し、湯せんで溶かす。トマトジュースは人肌に温めゼラチン液と混ぜ、ここにAを加える。
- 3 2を小さなボウルに入れ、冷蔵庫で40～45分冷やし固める。
- 4 カッテージチーズを作る。鍋に入れた牛乳を火にかけ温める。ここへ酢を加え、分離したらボウルの上にザルを置き、クッキングペーパーを敷き流す。ペーパーの上に残ったチーズをひとまとめにして丸め、水道水でよく揉み洗いする。ザルにあげ、重石をして水分を切る。
- 5 4のチーズを食べやすく切る。
- 6 1のトマトの上に4のチーズを乗せ、2の固まったトマトジュレをフォークで崩してチーズの上に乗せる。パセリをふりオリーブオイル・塩コショウをして食べる。

群馬県産
トマトジュース使用

